

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年04月01日

計画の名称	岩倉市における下水道の安全安心基盤整備（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和04年度～令和05年度（2年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	岩倉市												
計画の目標	・雨水調整池の設置で浸水被害常襲区域の都市浸水の解消を図り、水害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	838	A	823	B	0	C	15	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	1.78	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R5末
1	岩倉市における都市浸水対策整備進捗率を21.6%（R4年度当初）から33.7%（R5年度末）へ拡大。 岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき区域のうち、整備が完了している区域の割合。 都市浸水対策整備進捗率（%）＝（整備が完了した区域（ha）／（岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき区域の対象降雨規模：10年確率	22%	22%	34%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岩倉市	直接	岩倉市	管渠（	新設	大矢公園調整池（浸水対策）	貯留量 2,250m3	岩倉市	■	■				823	—	
											小計						823		
											合計						823		

C 効果促進事業

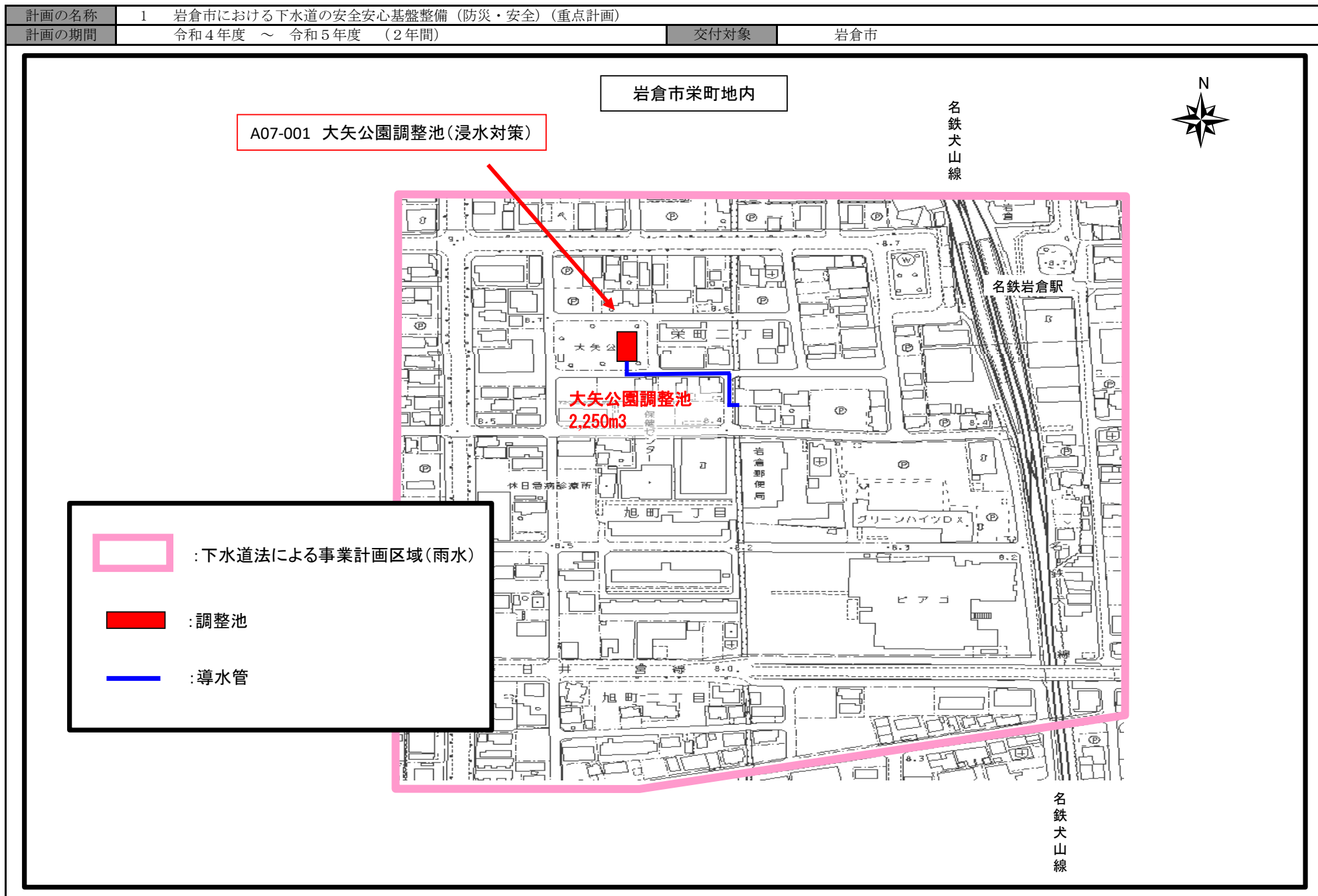
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	岩倉市	直接	民間	-	-	雨水流出抑制施設	浄化槽転用 2基/年 雨水貯留槽 16基/年	岩倉市	■	■				1	-	
	雨水の流出抑制及び有効利用を図るため、雨水貯留施設等を設置する個人に対し助成する。																		
	C07-002	下水道	一般	岩倉市	直接	岩倉市	-	-	浸水ハザードマップ見直し業務	浸水ハザードマップの見直し	岩倉市	■					14	-	
	想定最大規模の降雨に対応したハザードマップの見直しを行うことにより、集中豪雨等でのはん濫等の浸水情報及び避難に関する情報を市民分りやすく提供し、人的被害を防ぐ。																		
											小計						15		
											合計						15		

事前評価チェックシート

計画の名称： 岩倉市における下水道の安全安心基盤整備（防災・安全）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 五条川右岸流域関連岩倉公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関連する他事業の計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画（社会資本整備重点計画、新川流域水害対策計画）と適合している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考図面1) 参考図面 (防災・安全交付金)



(参考図面2) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	1 岩倉市における下水道の安全安心基盤整備 (防災・安全) (重点計画)	交付対象	岩倉市
計画の期間	令和4年度 ~ 令和5年度 (2年間)		

